

各位

第13回「日本新薬こども文学賞」 最優秀賞作品決定

日本新薬株式会社（本社：京都市、社長：前川重信 以下、当社）は、第13回「日本新薬こども文学賞」において、物語と絵画各部門の最優秀賞を含む16点の入賞作品を決定しました。

「日本新薬こども文学賞」は、絵本を通じて、未来を担う子どもたちの“ゆめ”を彩り、健やかな“こころ”の成長を見守りたいとの願いから、日本児童文芸家協会の後援を得て、当社創立90周年にあたる2009年に創設したものです。

13回目となる今回は、昨年11月から今年2月まで物語と絵画を募集し、全国から物語1,133点、絵画218点の作品が寄せられました。



絵画部門最優秀賞

「ぼくらの祈りと願い、それはせかいを奏でる詩なんだよ」

[画像のダウンロードはこちら](#)

応募作品は、絵本作家の山本省三氏、かさいまり氏、京都精華大学名誉教授の坪内成晃氏、小児科医の細谷亮太氏他3名、計7名からなる審査員によって厳正に審査され、物語部門最優秀賞は、諫見公与（PN:きみきみよ）さん（55歳：福岡県在住）の「もりのぶらんこ」が、絵画部門最優秀賞には、くまのひでのぶさん（36歳：岐阜県在住）の「ぼくらの祈りと願い、それはせかいを奏でる詩なんだよ」が選ばれました。

絵画部門では、本審査とは別に、当社の社員による投票を実施し、なかいかおりさん（32歳：東京都在住）の「ほんをひらけば」、パターソン楓（ぱたーそんれん）さん（4歳：東京都在住）の「ハンバーガーを持って電車でおでかけ」の2点を「日本新薬特別賞」として選出しました。

当社では、最優秀賞を受賞した物語をもとに、絵画部門の最優秀賞を受賞した、くまのひでのぶさんが絵をつけた絵本2万冊を制作し、今年10月の完成を目指します。

出来上がった絵本は、全国の小児科医院などの医療機関や公共施設等を通じて、広く子どもたちのもとに届けられるほか、当社のWEBサイトでも閲覧できる予定です。

第13回「日本新薬こども文学賞」受賞作品一覧

物語部門および絵画部門の各入賞作品および作家は、以下の通りです。

【物語部門最優秀賞】諫見 公与（PN：きみ きみよ）『もりのぶらんこ』
実際に会ったこともない、会うことができない環境で生きるもの同士が、顔を合わさずに友だちになっていくことがテーマの物語です。心あたたまる作品で各選考委員からも絶賛され、最優秀賞を受賞しました。

【絵画部門最優秀賞】くまの ひでのぶ『ぼくらの祈りと願い、それはせかいを奏でる詩なんだよ』
見る側それぞれに自由なイメージを喚起している、抽象性の高い温かい世界をもった作品です。

部門	賞	作品名	氏名/ペンネーム
物語部門	最優秀賞	もりのぶらんこ	諫見 公与/きみ きみよ
	優秀賞（大人の部）	学校なんか大嫌い	知鬼 遊仁
	佳作（大人の部）	あまやどり	たかさき 京子
		はらぺこランドセル	立岩 由子
	優秀賞（こどもの部）	亜美の大切な文房具	野口 結実菜
	佳作（こどもの部）	対決！まおうG	高岩 恭子
		へびぼう	東條 樹
絵画部門	最優秀賞	ぼくらの祈りと願い、 それはせかいを奏でる詩なんだよ	くまの ひでのぶ
	優秀賞（大人の部）	あかり屋	のむら うこ
	佳作（大人の部）	森のダンスステージ	佐藤 美千子
		かくれんぼ	柳野 いこ
	優秀賞（こどもの部）	わたしのピアノ	安岡 美織
	佳作（こどもの部）	虹をわたって宇宙に行きたい	伊神 拳一郎
		赤ちゃんから育てたちょうちょ	木下 芹華
	日本新薬特別賞	ほんをひらけば	なかい かおり
		ハンバーガーを持って 電車でおでかけ	パターソン 楓

以上